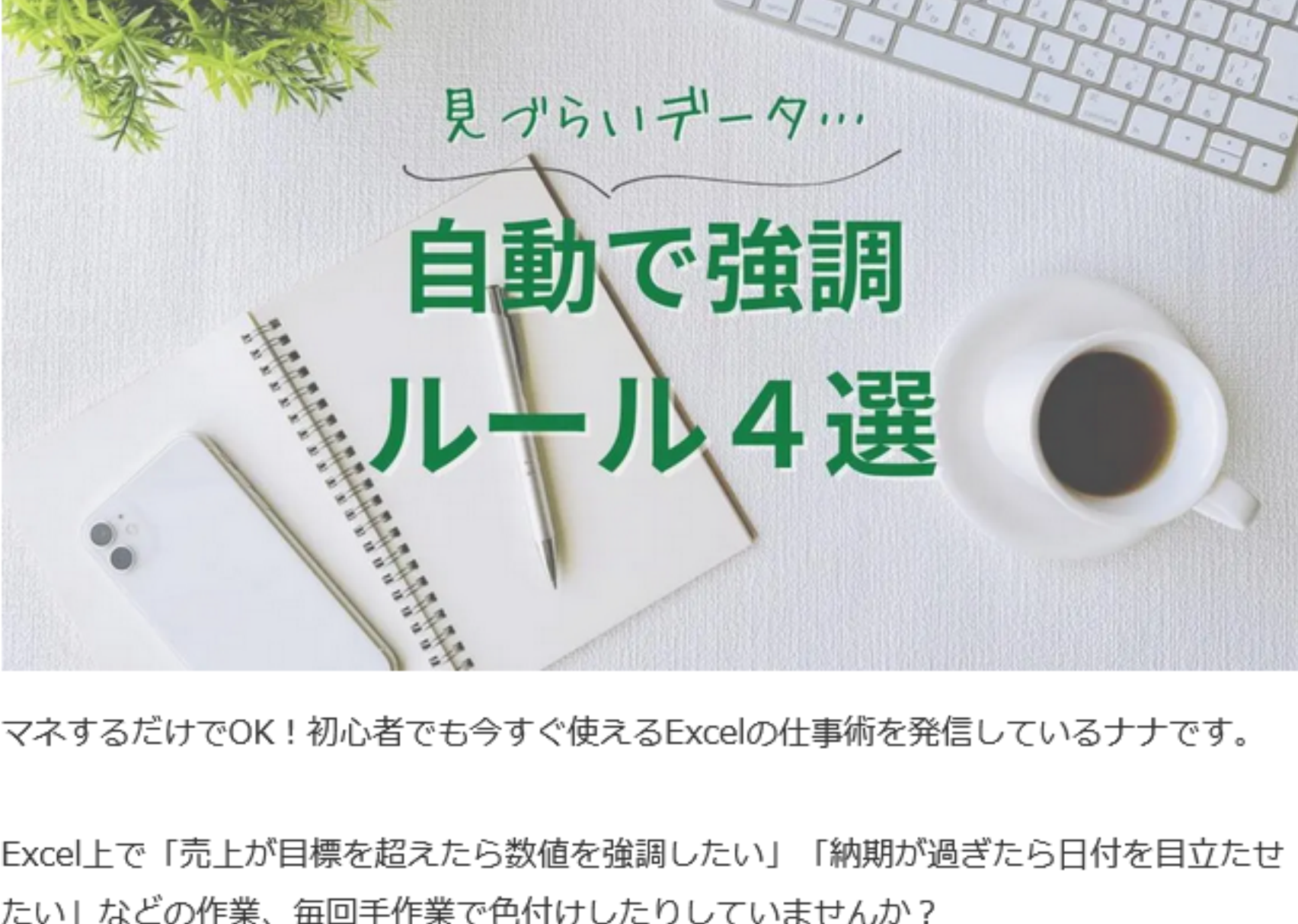


【Excel】まだ手作業してる？ひと目で伝わる"自動色付け"ルール4選

選

nana エキスパート | Excelマニア

5/11(日) 20:10



マネするだけでOK！初心者でも今すぐ使えるExcelの仕事術を発信しているナナです。

Excel上で「売上が目標を超えたら数値を強調したい」「納期が過ぎたら日付を目立たせたい」などの作業、毎回手作業で色付けしたりしていませんか？

実はその作業、Excelの「条件付き書式」を使うと、**ルールを“選ぶだけ”でセルの見た目を自動で変えてくれる**んです◎

そこで今回は、「条件付き書式」の操作方法とすぐに試せるおすすめパターンをご紹介します。

視認性がグッと上がり、ミスや確認漏れもグッと減らせるので、まだ活用できていなかったという方はぜひチェックしてください！

条件付き書式とは？

条件付き書式とは、「特定の条件を満たしたセルだけに色や装飾をつける」機能。

たとえば、売上が10万円以上なら緑、今日の日付ならグレー背景、空白セルなら警告色といった形で、**ルールを設定しておけば、該当するセルが自動的に変化**します。

■操作手順

ホームタブ→「条件付き書式」→「セルの強調表示ルール」などを選ぶ

基本的な操作であれば、これだけで設定可能です。

では、一つの条件を例に実際の操作方法を紹介していきます。

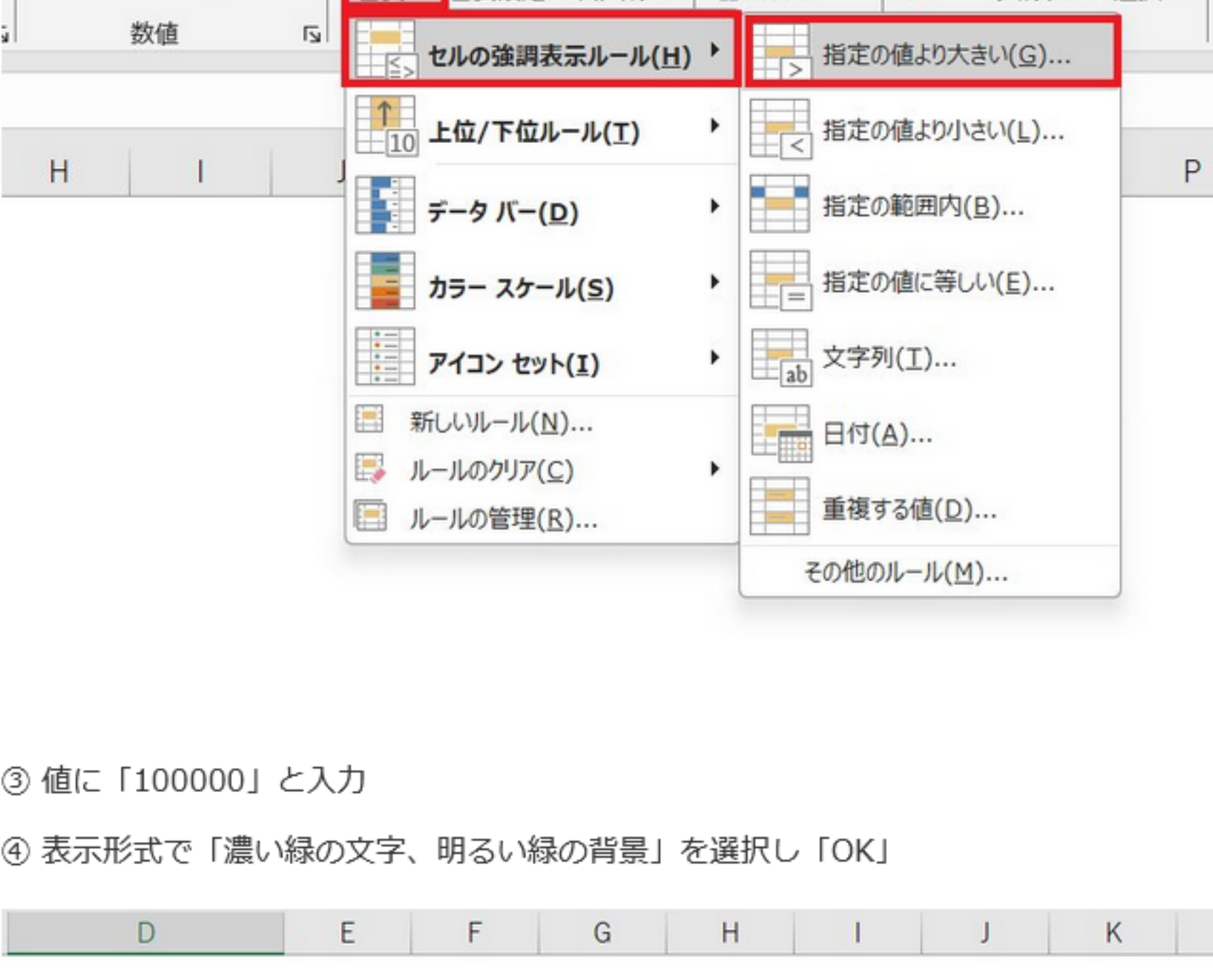
実例：売上が10万円を超えたら色をつける

今回は、売上が10万円を超えたらセルを自動で緑色にする設定です。

① 売上データの入ったセル範囲を選択

D3				120000				
	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3		担当者	日付	金額				
4		佐藤	2024/4/1	¥120,000				
5		鈴木	2024/4/2	¥98,000				
6		田中	2024/4/2	¥105,000				
7		佐藤	2024/4/3	¥150,000				
8		鈴木	2024/4/4	¥87,000				
9		佐藤	2024/4/1	¥120,000				
10		鈴木	2024/4/2	¥98,000				
11		田中	2024/4/2	¥105,000				
12		佐藤	2024/4/3	¥150,000				
13		鈴木	2024/4/2	¥87,000				
14		佐藤	2024/4/4	¥120,000				
15		鈴木	2024/4/3	¥98,000				
16		田中	2024/4/2	¥105,000				
17		佐藤	2024/4/3	¥150,000				
18		鈴木	2024/4/4	¥87,000				
19								

② 「ホーム」タブ→「条件付き書式」→「セルの強調表示ルール」→「指定の値より大きい」を選択



③ 値に「100000」と入力

④ 表示形式で「濃い緑の文字、明るい緑の背景」を選択し「OK」

D	E	F	G	H	I	J	K
金額							
¥120,000							
¥98,000							
¥105,000							
¥150,000							
¥87,000							
¥120,000							
¥98,000							
¥105,000							
¥150,000							
¥87,000							

これで、**10万円を超えたセルだけが自動的に色づく**ようになります。

データをあとから修正しても、条件を満たせば色が変わるので、手動で塗り直す必要はありません。

条件付き書式おすすめ4選

ここでは、選ぶだけで使える条件付き書式を、使える場面別に紹介していきます。

1. 実績値の強調をしたい

パターン：売上が目標を超えたら緑に

設定メニュー：セルの強調表示ルール → 指定の値より大きい

2. スケジュール確認をしたい

パターン：今日の日付を目立たせる

設定メニュー：セルの強調表示ルール → 日付 → 今日

B	C	D	E	F	G	H
4月2日						
4月8日						
4月11日						
4月15日						
4月18日						
4月23日						
4月26日						
5月1日						
5月7日						
5月10日						
5月11日						
5月12日						

3. 期限チェックをしたい

パターン：納期が過ぎたら赤く表示

設定メニュー：セルの強調表示ルール → 日付 → 過去7日間

4. 同じIDや品番を見つけやすくしたい

パターン：重複データを強調

設定メニュー：セルの強調表示ルール → 重複する値

B2				品番		
	A	B	C	D	E	F
1						
2						
3		品番	商品カテゴリ	金額		
4		001001	布団乾燥機	¥4,950		
5		001002	スリムノートPC	¥88,000		
6		001003	Bluetoothヘッドフォン	¥16,500		
7		001004	4Kテレビ55インチ	¥187,000		
8		001005	布団乾燥機	¥12,000		
9		001006	スマートウォッチ	¥79,800		
10		001007	ゲーム用キーボード	¥3,850		
11		001008	Bluetoothヘッドフォン	¥23,500		
12						
13						
14						
15						
16						
17						

これらはすべて「選ぶだけ」で設定できるので、関数を知らなくても十分に活用できます。

条件付き書式が反応しないときは…

・数値に見えていても「文字列形式」で入力されていると反応しないことがあります
→ **セルの表示形式を確認**しましょう

・空白セルに「スペース」などが入っていると、空白と認識されないことがあります
→ 反応しない空白セルに**スペース等が入っていないか確認**しましょう

・条件が複数ある場合は、上にあるルールが優先されます
→ 条件付き書式の「ルールの管理」から、**表示順のチェック・必要に応じて並び替え**をしましょう

まとめ

今回は、条件付き書式の基本的な使い方と選ぶだけで設定可能なおすすめパターンをご紹介します。

データの視認性がアップし確認漏れも減らすことができるので、業務に合ったものを1つだけでも取り入れてみてください！

他にもマネするだけでOKなExcelの仕事術を紹介していくので、Excel初心者の方はぜひチェックしてくださいね！